

「朝日中学生ウイークリー」が発行 2000 号

中学生向け媒体相次ぐ休刊の中で、5 万部超を維持

編集の柱はニュース、学習、いじめ問題 投稿欄をもとに「いじめ」の漫画も出版



創刊 2000 号を迎えた「朝日中学生ウイークリー」8月4日号

朝日学生新聞社（東京都中央区）が発行する週刊紙「朝日中学生ウイークリー」が、8月4日号で発行 2000 号を迎えた。1975 年の創刊から 38 年あまり。中学生向けの媒体が次々と消えていくなかで、5 万を超える発行部数を維持している。

朝日中学生ウイークリーはタブロイド判 20 ページ、オールカラーの週刊紙。時事ニュースの解説のほか、学習問題、投稿欄、進路情報などにも紙面を多く割いている。姉妹紙「朝日小学生新聞」を「卒業」した読者の移行も順調で、ここ 3 年は 5 万～6 万部を維持。日本 ABC 協会の 6 月調べでは 5 万 4040 部となっている。

中学生を対象とした新聞には日刊の「毎日中学生新聞」があったが、2006 年 3 月に休刊となった。また、90 年代には、「中一時代」「中学一年コース」などの学年誌が相次いで休刊した。こうした状況の中で「朝日中学生ウイークリー」は、中学生向けの総合紙（誌）として唯一とっていい存在となっている。

ニュースは、Q&A 形式や漫画などでわかりやすく解説。参考書選びやノートの取り方、定期試験対策など、学習のノウハウ記事も、読者から強く支持されている。

また、いじめ問題への取り組みも大きな柱の一つ。投稿欄「いじめ伝言板」を 2000 年から始め、04 年から投稿をもとにした漫画「明日がくる」も連載している。昨年秋、漫画は『いじめ 心の中がのぞけたら』（朝日学生新聞社）として出版され、大きな反響を呼んだ。文部科学省の「いじめ相談ダイヤル」の案内にも漫画「明日がくる」の番外編が使われている。

編集長の松村康史は「ニュースと学習を柱に知的好奇心に応えながら、等身大の中学生を感じてもらえる紙面を作り続けたい」と話している。

リリースに関する問い合わせ先 → 朝日学生新聞社広報・教育メセナ部

104-8433 東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社・新館 9 階 電話 03-3545-5223